

# 「広島神楽」定期公演へようこそ!

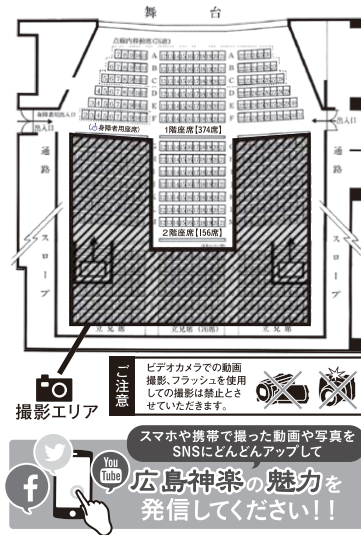
本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。  
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。  
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について  
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。  
※ビデオカメラでの**動画撮影**、**フラッシュの使用は禁止**します。  
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

## 撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアをお願いいたします。



## 10月19日のタイムスケジュール

出演：上川戸神楽団（北広島町）

19:00～開演

19:05～第一幕『塵倫』

(およそ40分)

～幕間(休憩)～

20:00～第二幕『八岐大蛇』

(およそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念には是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。(舞台へは靴を脱いでお上がください。)  
※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

かみかわどかぐらだん

## 上川戸神楽団プロフィール ～山県郡北広島町～

上川戸神楽団は、熊野神社の氏子三十数戸の中から結成され、古くから舞い続けられた郷土芸能・神楽を受け継ぎ、その継承に少ない団員にもかかわらず、一生懸命頑張っています。

また、受け継いだものには舞の他、木彫りの面や草木染めの衣装、神鎧など貴重なものもあり、町の伝承館でも展示や保存をいただいています。

先輩・後輩一緒になって、伝統の郷土芸能・神楽の伝承に今後とも努めてまいりますので、ご声援、ご指導よろしくお願いいたします。

### 第一幕『塵倫』(じんりん)

人皇・第14代仲哀(ちゅうあい)天皇の御代、異国から我が国を滅ぼそうと数万騎の弊が攻めてきました。その中には塵輪という身に翼を持ち、天空を自由自在に飛び廻る大将がおり、戦術にも長けていたため、多くの国民を悩まし滅ぼしてきました。

そこで、天皇は、不思議な霊力を発揮するという弓矢を武器に、従者・高麻呂(たかまろ)とともに塵輪に立ち向かい、激しい戦いの末、みごと大悪鬼を退治し、我が国の危機を救ったという物語です。

【出演】	大太鼓 … 藤井 徹	仲哀天皇 … 吉田 千寿	塵 倫 … 森 脇 満
	小太鼓 … 天玉 美里	高 磨 呂 … 片岡 泰英	鬼 … 石橋 孝征
	手打鉦 … 日高 昌文		
	笛 … 山田 かな		

### 第二幕『八岐大蛇』(やまたのおろち)

出雲国・簸の川の川上で八人の姫を育てていた老夫婦でしたが、年ごとに七人の娘たちが大蛇に取られてしまいました。老夫婦(足名植、手名植)が八人目の姫を中心に、嘆き悲しんでいたところへ素戔鳴尊が通りかかり、その訳を聞き、大蛇退治の策をたて、大蛇退治を申し出ます。

七人目の姫が大蛇に取られるところから神楽が始まり、後半では大蛇四頭の酒飲み、そして、激闘へと場面は展開します。素戔鳴尊は十握の剣を持って見事大蛇を切り刻み無事退治します。その切り裂いた大蛇の尾の中から一つの剣が出てきました。これが天の叢雲の剣、後に草薙の剣といわれる物で、その件を素戔鳴尊は天つ神に献上されました。

【出演】	大太鼓 … 石橋 孝征	素戔鳴尊 … 藤井 和則	大 蛇 … 吉田 千寿
	小太鼓 … 天玉 美里	足 名 植 … 天玉 篤	大 蛇 … 藤井 徹
	手打鉦 … 天玉 良	手 名 植 … 森 脇 満	大 蛇 … 日高 昌文
	笛 … 山田 かな	姫 … 片岡 泰英	大 蛇 … 大上 顕男

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。